



士別ロータリークラブ会報

創立1960・3・24 RI第2500地区

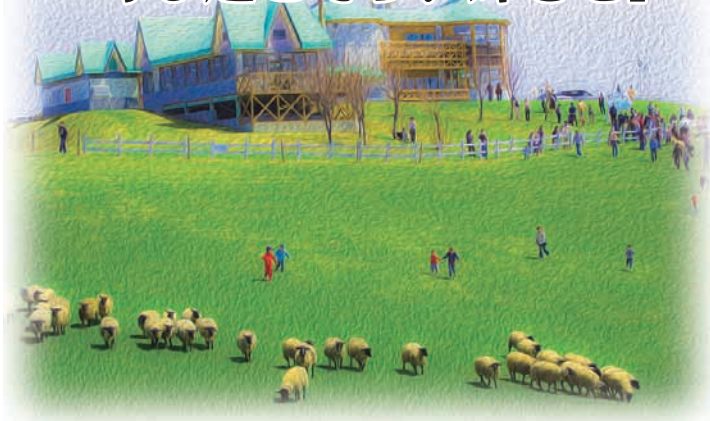
vol.09 No.2483

2014～2015年度 国際ロータリーテーマ



2014～2015年度RI会長 ゲイリーC. K. ホアン

2014～2015年度士別ロータリーのスローガン
「呼び起こそう、輝きを」



- 例会場／士別グランドホテル
- 例会日／毎週月曜日 12:10～13:10
- 事務所／士別グランドホテル TEL:(0165)23-1234
- 会長／宮崎隆雄 ■副会長／北村浩史
- 幹事／坂口芳一

今日のプログラム 第2564回例会 2014年9月22日(月)…〈普通例会〉

■9月8日の記録■ 普通例会

- 司 会 佐藤元信 会場監督
- 斉 唱 我等の生業
- 本日の出席 会員47名中 出席者39名 出席率82.98%
- 本日の欠席 江端健之、黒田康敬、近藤峯世、鈴木 勉、佐藤和彦、坂野虎溪、深尾幸夫、二井内亮太
- メイクアップ 宮崎隆雄、坂口芳一、北村浩史、穴田俊昭、千葉道夫、近井孝義、片庭隆暁、本山忠之、奈良康弘
- ビ ジ タ ー
- ゲ ス ト 一般社団法人士別青年会議所 第58代理事長 富田克彦
- ニコニコBOX 織戸俊二(国際ソロプチミスト・士別青年会議所・士別ライオンズクラブ・士別ロータリークラブ交流パークゴルフ大会優勝)

累計100,000円

例 会 予 定

■9月の予定……………《新世代のための月間》

- 9月1日(月)／例会・理事会
- 9月8日(月)／例会
- 9月15日(月)／休会(法定休日・敬老の日)
- 9月22日(月)／例会
- 9月29日(月)／夜間例会

■10月の予定……………《職業奉仕月間・米山月間》

- 10月6日(月)／例会・理事会
- 10月13日(月)／休会(法定休日・体育の日)
- 10月20日(月)／例会
- 10月27日(月)／夜間例会

■会務報告宮崎隆雄会長

- 9月3日、合宿の里士別推進協議会主催による、夏期強化合宿選手との親睦交流会に出席して参りました。50名程の選手・監督が出席されており、私たちのテーブルにはN T T西日本と中国電力の選手が同席し和やかな内に進行しておりました。この中から多くの選手が日本代表として育って行ってほしいものです。今後を期待いたします。
- 9月4日、4クラブ交流パークゴルフ大会が天塩川パークゴルフ場にて開催されました。あいにくの小雨交じりの天候にも拘らず、多くの会員の参加を頂き大会も無事終了し夜には懇親会で大いに盛り上がりました。本年は当クラブのP G同好会が当番であり同好会の皆さん、準備等ご苦労様でした。
- 日本生命の二井内氏が退会されました。後任の士別旭川支社士別営業部佐藤営業部長様より連絡があり、一身上の都合により退社、既にこの地を離れているとの事でございます。突然のお話で非常に残念ではありますが、受諾させて頂きました。また、後任に関しても現在暫定人事との事なので少し期間を開けることになりそうです。

■幹事報告坂口芳一幹事

- ロータリーの友事務所から2014~2015年度版のロータリーの友英語版の発行並びに購入の幹事がきておりますので、ご購入希望の方は幹事までご連絡お願い致します。
- 葎本正美直前ガバナー事務所より地区財務報告書がきておりますので、資料台に置いてありますので、ご一読下さい。
- 10月11日から12日の地区大会に20名の登録を頂きましてありがとうございます。詳細につきましては、本日参加される皆様にご案内を申し上げたいと思います。
- 次週、9月15日は休会日となっておりますので、お間違えないように宜しくお願い致します。

■委員会報告

- 社会奉仕委員会.....國森和磨委員長
秋の交通安全運動が実施されます。日時は9月24日(水)、あすなろ公園に午後2時30分に集合で「人の波、旗の波大作戦」を執り行いますので、時間の空いている方はご参加頂ければと思います。
- 財団・米山奨学委員会.....泉谷 勇委員長
これから結婚記念品の贈呈がありますが、第2例

会は記念品をお渡し致しますので、欠席なされないようお願い致します。

●プログラム委員会.....谷 温恵会員

本日のプログラムは9月の新世代のための月間になみまして、ゲスト卓話です。どうぞ宜しくお願い致します

■ゲスト卓話 2014年度一般社団法人士別青年会議所
.....第58代理事長 富田克彦氏

私達青年会議所はこの地域の青年の代表として、気概と覚悟を持って日々運動活動をしております。本年度の活動の元となっております理事長所信を皆様に聞いて頂きたいと思っております。

～はじめに～

現在、人口の減少、少子高齢化の進行という課題は、私達の住む地域においても年々厳しさを増してきております。特に、少子化の進行は地域活力に直接的な影響を及ぼす恐れがある中、次代を担う子供達を育てる事のできる環境作りと青少年育成は極めて重要な課題のひとつと認識しております。誰もが地域の現状と問題を再認識し、市民が一丸となって、知恵を出し、汗をかき、創意と工夫を結集する事で、必ず道は拓かれると私は確信しております。

地域活力に最も重要な「子供達」のために、青年としての行動力、英知と勇気と情熱を持って会員が一丸となって未来を切り拓いて行く覚悟であります。～歴史から始まる物語～

私は、このまちで生を受けた事に感謝をしています。地域の礎を築いた屯田兵達が士別に入植したのは明治32年。北海道最北であり最後の入植によって士別の歴史が始まりました。先人達の開拓精神とたゆまぬ努力のもと、農林業を基幹産業として115年の歴史がこの地域を育み発展へと導いてくれました。その時代時代に先人達が額に汗し、挑戦し続け、歩んできた苦勞の歴史があるからこそ現在があります。その現在を当たりまえと捉え、先人達の恩恵も感じる事なく、生活している人が多いように私は感じます。

当たりまえの生活は永久に続く約束などはされていないはずで。今こそ、未来の為に責任世代であります私達は、先輩諸兄が積み上げてきた信用という土台の上で、私達が活動するフィールドがある事の有難さに感謝し、これまで受け継がれてきた伝統や文化のためにも、熱い情熱で「誰のために」「何のために」という思いを胸に、額に汗をしなければいけません。

～誇りと郷土愛～

「私はこの故郷が大好きです」。このまちに生まれ、私自身の成長と同じ時間の流れを共に過ごした、この郷土の多くの人と自然へ、様々な環境への感謝を含め、その全てに対し誇りを感じています。しかしながら過去に一度土別を離れていた時期がありました。私がこの地域に戻ってきたのは、故郷に対する「郷土愛」に気付いたからでもあります。



思い返せば年少期に過ごした土別には「魅力あふれるイベント」が開催され、「自然豊かな風景」があり、「温かい人情」に溢れ、子供心をくすぐるような地域でありました。私達が子供ながらに感じた「魅力」と言うのは、私達が青年となった現在、今度は今の子供達へと伝えていかなければならない。そこには地域の子供達に対する愛情があり、郷土愛を持ってほしいという思いが私の「誰のために」、「何のために」運動するのかと言う原動力は、子供のためであり、子供の故郷のためであり、子供に郷土愛を抱いてもらいたいという強い情熱にほかなりません。

明るく豊かな社会の実現を目標とする青年会議所運動は、つづけなければならないものと考えます。先人達が自分に残してくれた思い出、自分に伝えてくれた郷土愛を改めて学び、あらゆる方面に発信して行く事で、「次世代のまちづくりの担い手」として行動できる人財育成運動を推進し、積極的に地域の課題に挑戦し、まちづくりへの参画意識の向上を仲間と共に目指します。

～志同じくする仲間～

青年会議所に入会して5年目を迎えました。入会して出会った仲間たちの存在は私にとってこの上ない幸せであると共に、かけがえのないライバルでもあると感じております。

「修練」を共にし、「奉仕」を共にし、活動できる「友情」が存在する事を感じると同時に、自分の未熟さも痛感する事が出来ました。また、入会前は「忙しい」と言う言葉の存在をも打ち消してしまうほどの衝撃を、体感する事が出来るなんて考えもしていませんでした。

仲良しと言う言葉はよく聞きますが、仲良しと仲間は同じではないと考えます。一つの事業に対し、言わなくても良いのではないかと、という意見を発言する事もあります。それはより素晴らしい事業を創り上げるために必要不可欠だと感じております。

主観的に物事を進めようとするれば、同じ意見が集まる事になり、限界がすぐに見えてしまいます。より良い事業構築のために、客観的角度で物事を見据え、時に仲間と意見衝突する事も必要でしょう。それが本当の意味の「仲間」であり、「友情」だと私は感じてなりません。

「目的、目標は一緒でも手法は違う」、そのような事を学べる場こそ、青年会議所の魅力の一つだと私は強く感じます。仲間を大事に、共に手を取り合い、共に汗を流し、共に笑い、共に泣きながら青年会議所運動を奮起します。

～覚悟と情熱を持って～

私は青年会議所で活動すると同時に、この地域で活動しております他団体、イベント等の実行委員会にも積極的に参加をしております。

主体となるメンバーは青年世代であり、皆この地域の活性化のため「活力ある“ふるさと”の実現」、「笑顔で輝く“ふるさと”の未来へ」という同じ志のもと、様々な手法をもつて活動をしております。手法が違う事により、事業構築に足並みが揃わない事も時にはありますが、これが地域連携の難点なのだろうと考えます。同時に、この難点さえ打開できれば今よりもっと素晴らしい景色が広がるものと確信します。

「地域を活性化させるには活動人口を増やす事」以前参加したとあるフォーラムで耳にした言葉であります。「地域を元気にするのはその地域に住まう市民だけでは成り立たない」、「いかに地域に対して思いがあり、行動力を発揮できる活動人を発掘し輩出するか」、「それが地域活性化の一番の近道である」と講師の方は仰っておりました。当たり前聞こえる言葉ではありますが、容易に実現出来ない言葉でもあると私は考えます。地域が衰退している今こそ、地域連携の難点とは考えずに試練であると捉え、地域に対する思いを共有し、先を見据え、活動を共にできる団体が青年会議所以外にもたくさんある事に感謝をします。そして、そのようなメンバーと共に自分達も活動し、“参加をされる方が楽しいと思う事業”のために、企画している自分達が“楽しいと思う”事業を構築する事を心がけ、スクラムを組み覚悟と情熱と「一人の活動人の前に、一人の市民である」という誇りを各々が持って活動する事が、地域活性化の近道になると考えます。

～おわりに～

2014年度一般社団法人土別青年会議所は『解放放て！みなぎるパワー 笑顔で輝く未来の創造へ！！』

をスローガンに掲げ活動しています。

今こそ子供達が笑顔で迎えられる未来のために、私は英知、勇気、情熱を持ち合い、青年としてのパワーを発揮しなければならないと決意しております。今日まで築き上げた足跡を糧に、更に大きな足跡を残し「活力ある“ふるさど”の実現」、「笑顔で輝く“ふるさど”の未来へ」向けて、揺るぎない一步を踏み出し邁進する所存であります。そこには必ず、私達の力を必要としている方々がいると信念を持って。

これが私が年当初に掲げさせて頂いた理事長所信であります。この中にもありましたが、私が士別に戻ってきたのは子供の時に感じた様々なイベント、事業での思い出、それが一番の理由だと私は考えております。今様々な事業を通して、雪祭りでも本当に他愛のないことかもしれりません。動物を呼んで動物園を開く、そんな自分達の手を疲れさせない様な事業をやっているのかとその様なこともありましたが、私はやはりいろんな事を通して子供達に思い出を持ってもらいたい、士別に対する愛を持ってもらいたい、その様なことでいろいろな活動をしてきております。また11月には青少年の本年度の最大の事業として中学生を対象に実行委員会を立ち上げ、私達が口出しすることを殆どしないで中学生自ら何をやりたい、どんなことをやりたいという事業を考えております。そのことに対して、士別に対しての思い出、改めての郷土愛を持ってもらえれば、厳しい時代の中ではありますが、何処かに出稼ぎに行ったとしても将来的にはこの士別に戻って、愛する士別のために頑張りたいんだと、この士別で働きたいんだという思いを持って頂けるよう私達はこれからも一生懸命邁進して参りますので、本日士別RCの会員の皆様には私達に対する今以上のご協力とご理解を賜れば大変有難いと思っておりますので、宜しく申し上げます。

●謝辞……………宮崎隆雄会長

今月はロータリーで言えば新世代のための月間でございます。私達が新世代のためにどの様な行動を起こすべきかということを考えるにあたり、まず地



元の青年達の思いに耳を傾けることも重要ではなかろうかと考えております。士別青年会議所様は常に青年としての情熱を保ち、地域やその子供達の未来の創造に関わっている団体です。今日はその長である富田理事長に士別JCの所信とその熱き思いを直接聞かせて頂くことが出来ました。お互いに世代を超えて影響し合える団体、また個人であり続けることが大切なんだと思います。今後記会議所様が益々発展されることをご祈念致します。本日は本当に有難うございました。

■9月の結婚祝い



穴田俊昭・近藤峯世・坂野虎溪・佐藤和彦・藤吉敏博
5名の会員が今月結婚記念日を迎えます。
おめでとうございます。